

キャラクター名
秋衣 (あさこ)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	F Hチルドレン
	キュマイラ				
オプション		年齢		性別	
覚醒	探求	衝動	自傷	初期侵食率	33 %
出自	疎まれた子	経験	心の壁	邂逅	欲望；従属

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	47
肉体	6	1	1			8	行動値	1
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	2
精神	0	0	1			1	戦闘移動	7
社会	2	0	0			2	全力移動	14

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	8		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	5	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
破壊の爪	白兵	8r+8	1	SL+8		
		0				
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
レベル3ボディアーマー	14	7	-2	-1	

所持品	

合計装甲： 7 合計回避： -2

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス 屍人	P	N		
	P 好奇心	N 不信感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 14 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	2	2	メジャー					
効果： C値をSLI分下げる								
破壊の爪	1	3	マイナー					
効果： 素手のデータ変更								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー					
効果： 戦闘移動								
獣の力	2	2	メジャー					
効果： 攻撃力SL×2								
剛身獣化	5	6	マイナー					
効果： 素手攻撃力SL×2 装甲値SL×3								
軍神の守り	1	2	オート					
効果： カバーを行う								
巨人の生命	2		常時					
効果： HPをSL×5								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「ねえ、蚕って知ってる？蚕は人間にとらわれちゃって野生に帰れなくなっちゃった虫なの・・・人間の庇護がないとすぐ死んじゃうの、私もいっしょ、私も組織の下にいないと生きていけないの」

私はもともとugnに所属していたugnチルドレンだ、両親が私がオーヴァートであることを知ると私を半ば捨てるようにF Hの訓練施設に入れた私はとても要領が悪くみんなができることもこなせなかった、任務に行けば足を引っ張り、訓練中もドジばかりして無駄弾を使うような子で自然とホームの中でも孤立していった

教官は私によく「訓練中足を引っ張ったから」だの「言われたことしかできないんだから」だの「我が強すぎる、だから何やってもうまくいかない」だの言い、私は私自身の意志で自分の欲望と感情を殺してきた、殺すのは簡単だった。ほしいとか食べたいとかいやだとか思ったらその気持ちを箱にしまい力半をかけ、鎖で縛り付け、埋めてしまうのだ、やりすぎたせいで私が私じゃなくなってしまった、私自身がどこかに喪失してしまったみたいだ・・・でもそれすらドゥデモイイ・・・

私は泣きじゃくった、泣いて泣いて泣いて泣き続けた、もうこんなのやめにしたい、死んじやいたいといいつつ泣き続けた、UGNの外に出ていきたいと何度も何度も言い続けた

教官はそんな私に最後のとどめを刺した「あなたはF Hから出て行ってどうやって生きていくの？あなたみたいな異形は組織の中にい続けなきゃ生きていけない、所詮あなたはただの蚕よ。せいぜい私たちに従うことね」と言い、最後の意志をも殺した。

私は戦い続ける、自分のやりたいことなんてもうどこにもないから、それに・・・ugnの外に出て行っても生きていけるわけなんてないから